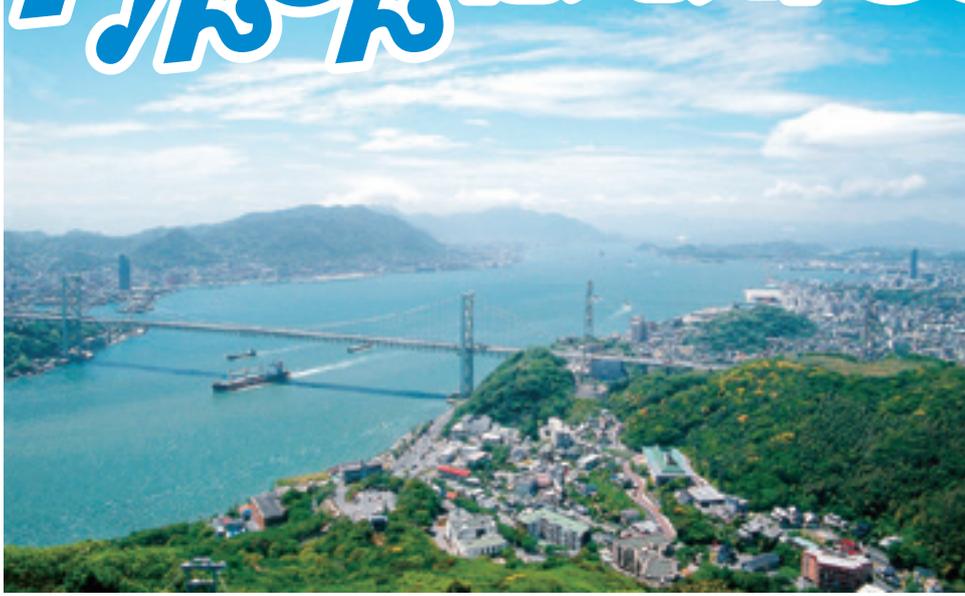


# かんもん北九州ファンクラブ



## 第136号

2019年秋号 [季刊]

発行者：藤城 昌三

〒337-0006

さいたま市見沼区島町  
433-31

TEL：048-685-5773

## 「会員はスゴイ！」

かんもん北九州ファンクラブ代表

藤城昌三



かんもん北九州ファンクラブ（以下KKFC）恒例の暑気払いは原宿の東郷神社・ピーターハウスでの開催は始めてであった。東郷平八郎元帥が青年の頃、イギリスへ留学した下宿先がピーターハウス邸とのこと、瀟洒な建物だ。

酷暑の毎日、暑気払いの夕べに48名の出席者があった。

日本の黎明を告げた東郷平八郎を祭る神社にふさわしい歴史上の人物の子孫が勢揃いとなった。

鎌倉幕府北条得宗家を支えた内管領長壽一族の血を引く長壽新一氏はKKFC二代目の代表。

16世紀、常陸大宮の宇留野城は佐竹氏一族の居城で宇留野輝男氏は私の同期入社。

ここ数年、真相究明で論議を呼ぶ本能寺の変の明智光秀・細川ガラシャの子孫の内田青虹氏の描く日本画が評判となっている。

江戸に入り徳川四天王の一人本多平八郎忠勝の子孫本多忠夫氏は小石川後楽園など大名家の庭園を世界遺産登録に尽力している。

水戸の講演会から馳せ参じた白木大五郎氏は江戸末期、西郷隆盛が追われて福岡に逃げ、匿った黒田藩士白木大五郎の直孫で代々大五郎名を継いでいる。

暑気払いは著名なご先祖を有す皆さま方に盛り上げていただき盛況にお開きとなったが画竜点睛を欠くと申すべく東郷平八郎に関する話題が無かった。

そこに会員の吉川契太さんから5歳の頃、戦艦三笠の横で遊具に乗って遊ぶ写真を提供願った。

鎌倉時代から織豊江戸そして明治昭和と引き継がれたKKFCの暑気払いとなった。感謝！

# 北九州ツアーの魅力・見どころについて

ツアー実行委員長 田中 悟

## 1 宗像大社（2017年7月に世界遺産に登録）

（神宿る島）を崇拝する古代の宗像氏が4世紀頃から日本から朝鮮半島へ渡る海域の守護神として（沖ノ島）の祭祀を守り続けました。祭神は田心姫神（たごりひめのかみ）。

今回お参りする宗像大社辺津宮（へつぐう）祭神は市杵島姫神（いちきしまひめかみ）、九州本土での三女神への信仰の場となっています。

沖ノ島の学術調査で出土した8万点もの出土品は全て国宝となっており神宝館で勾玉、銅鏡、金製品等が展示されています。大社、神宝館とも専門ガイドさん2名が同行して、マイクなしで案内していただきます。

## 2 神湊玄海旅館で昼食

大社参拝後バスで約15分神湊漁港へ向かい玄海旅館で海を見ながら海鮮丼をいただきます。大島へ渡るフェリーも出ている神湊は美味しいお魚料理が評判になっております。

なお、生ものアレルギーのお客様には代わりの料理を用意致します。

## 3 井筒屋本館8Fファミリーレストランで交流懇親会とミニコンサート

北橋市長、利島会頭はじめ北九州市関係者のご臨席をお願い致しております。

市長様から北九州の近況とこれから進む重点ポイントを伺えるのを楽しみにしております。

君原健二様は東京オリンピックへの期待を話される事でしょう。

中ほどからは、西南女学院中学・高校卒業の歌手田代美代子様が出演してミニコンサートが始まります。地元の皆様には久しぶりの歌とお話をお楽しみ下さい。



宗像大社神門



風力発電機



軍艦防波堤



安川みらい館

## 第 42 回歴史講演会のご案内

歴史を楽しむ会 世話人代表 井崎淳一郎

下記要領にて歴史講演会を開催しますので、奮って参加をお願いします。

- 1 演題：ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」と新発見「サルバトル・ムンディ」の謎  
北斎、広重に続く第3弾の講演となります。  
2017年11月15日、ニューヨークのオークションで史上最高額の510億円で落札された「サルバトル・ムンディ」がいかにして、ダ・ヴィンチ作と鑑定されたのか？「モナ・リザ」をはじめとするダ・ヴィンチの真作と比較しながら、その経緯と謎を検証する。
- 2 講師：斎藤陽一氏（美術ジャーナリスト、嘉悦大学客員教授、美術史学会会員）
- 3 日時：令和元年10月23日（水）18：00～20：00
- 4 場所：九州工大鳳龍クラブ 港区新橋2-20-15  
新橋駅前ビル1号館5階（03-3572-2009）
- 5 参加費：2,000円
- 6 申込み：10月16日（水）までに、メール（kankitafc@gmail.com）又はFAX：03-5539-3819をお願いします。  
なお、講演会終了後、希望者での懇親会を予定しています。（会費3000円）申込み時に懇親会の出欠につきましてご連絡願います。

## かんもん北九州ファンクラブの新年会のご案内

企画 副代表 井崎淳一郎

明けましておめでとうございます。

昨年の暑気払いと同じ会場で新年会を開催します。大きな声をあげて、元気な新年を迎えましょう。

ぜひお友達を誘い合わせご参加下さい。

記

- 1 日時：1月11日（土）午前11時30分受付開始、宴会開始12時～終了14時30分
  - 2 場所：【ピーターハウス】（公）水交会の付属施設  
渋谷区神宮前1-5-3（東郷神社隣）  
アクセス：JR山手線「原宿駅」竹下口より徒歩3分  
東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前」5番出口より徒歩5分
  - 3 会費：5,000円
  - 4 申込み：
    - (1) メール（kankitafc@gmail.com）又は会報表紙裏の連絡票をお願いします。
    - (2) 申込み期限：1月6日（月）まで。当日のキャンセル又はご連絡無き欠席は後日会費をご請求する場合がございますので、ご了承をお願いいたします。
- なお、アルコール類は持ち込み可能ですので、日本酒、焼酎のご提供を歓迎します。

# かんもん北九州ファンクラブ 暑気払い報告

副代表 中野栄二

8月9日18時～東郷記念館・クラブ水交「ピーターハウス」で開催した。これまでは新橋の鳳龍クラブで開催していたが、鳳龍クラブでは他の施設借用者との関連で大きな声での会合が不可能であり、歌姫達の活躍の機会を抑えていた。今回は式典・会合専用のハウスであり、これまでの不満を払拭できたようだ。

18時に広瀬副代表から力強い開会宣言が行われ、藤城代表の挨拶、ご来賓の島崎下関東京事務所長、正野北九州東京事務所副所長より祝辞をいただいた。乾杯の発声は久し振りの参加の元代表の長寄さんが行った。

新人会員の紹介では“新日本舞踊と着付け”の榎若師匠、“日田・玖珠山水郷土会”副会長の国武さんとお二人の紹介者・徳久さんを壇上でご披露。

メインイベントの歌姫3人娘？岡部さん、清家さん、井出さんの競演は会場を華やかに彩った。

予定に無かった“巳年生まれ”集団の大合唱で盛り上げ、会の重鎮・西山さんの締めめの挨拶で暑気払いは無事にお開きとなった。

末筆となりましたがワインや日本酒などご提供いただいた皆さまへ厚く御礼申し上げます。

追記：「巳年生まれ」の集合写真は講師・白木大五郎氏のリードの下、78歳とは見えない元気な皆さんだった。



司会・広瀬副代表



藤城代表挨拶



島崎下関市東京事務所長



正野北九州市東京事務所副所長



長寄元代表



乾杯の発声・長寄元会長



白木大五郎さん



ご当地ソングを歌う歌姫



受付会計担当の藤田さん、桑原さん、池田さん



巳年生まれ集合！



岡部きみよ (KIMIYO) さん



清家みえこさん



トリを受け持った井出悠子さん

## 暑気払いに新風を巻き起こす

田中 悟

8月9日、原宿・ピーターハウスで開催された暑気払いはファンクラブの会に新風を巻き起こし、今後につながる大きな成果を残しました。

幅広い会員が集まった事。特に元代表の長壽新一さんが5年ぶりに参加され挨拶と乾杯の音頭を取られたことで、48名参加の会場全体の雰囲気が一気に盛り上がりました。謝志会元会長の森 猛さん御夫妻も初参加され、日舞の師匠の参加も華を添えてくれました。

会場が3階で防音がされているので、3人の歌姫が存分に歌を披露出来た事。岡部さん、清家さんと続き、井出さんがトリを務め、シャンゼリゼの歌に北九州を讃える歌詩をつけ全員に配り、更には生年月日が同じと判った長壽さんと白木大五郎さんが肩を組んで歌い、今までの会に無かった光景が広がり、二人と同じ昭和16年生まれ10名もステージに上がっての大合唱につながりました。

会場の立地条件が優れている事。原宿駅竹下口で改札口をでると、いつも竹下通りは大混雑しています。竹下通りには入らずに静かな線路沿いに北へ3分、北東に2分でピーターハウスに着きます。室内は結婚式場の雰囲気です。テーブルには一人一人名札が貼ってあります。

会場内の樽生ビールが飲み頃の温度で運ばれて来た後は大皿料理が次々と各テーブルに運ばれ次回からもこの会場を活用していきたいと思いました。

私は写真係を続けておりますが今回だけは感想文を書かせていただきました。

## ◇高校物語◇「戸畑高校物語」 4 最終回

会員 (18 回生) 藤吉隆憲

## 第6章 花の応援団活動について

昭和31年、「応援を通じて本校生徒の団結を含め、校風の発展に寄与すること」を目的として、校務分掌では総務部応援団指導係の下に部が創設された。

男子だけの応援団も、女子学生の比率が上がり、ある時期より女子だけの応援団になっていった。

その、女子だけの応援団は「花の応援団」と言われ、地方民放や地方新聞に、多く取り上げられた。小生の拙い文章ではなく、全国版の高校生新聞(平成26年4月10日付け)の記事を以下に其のまま掲載させて戴く。

「－ 押忍! 花の応援団福岡戸畑高校応援団 －」



桜の咲き誇る、正門前より

## ● 硬派継承を約束

フレ－フレ－戸畑!

3月23日、北九州市民球場九州高校野球福岡県北部地区予選、1塁側スタンドから大声が響き渡った。戸畑高校第59代応援団長・武久結香さん(3年)だ。味方スタンドを一つにまとめて、締めは腰を深く折って「押忍(オッス)!!」、「応援団」と旧字体を残した大きな襟章腕章が伝統の重みを伝える。十数年前から男子部員が減少。一方で、女子から「入りたい」との声が高まってきた。「従来の応援メニューを変えない」との約束で、入部が許され、女子だけになって12年、当初の約束通り、礼節と形を重んじる「硬派」をしっかりと継承している。



戸畑高校体育館

## ● 演武・30種

入部すると太鼓やブラスバンドに合わせて、コンバットマーチなど30種(各2分前後)のパフォーマンスを夏までに覚える。姿勢を正し、上下左右に手を振り、拳を突く。「演舞」ではない“演武”だとOBから指導を受ける。手の振り、高さ、角度、仲間との間合いなど細かい点もおろそかにせず、全員が寸分の乱れもなくこなすのが目標。「戦っている仲間の思いを感じながら、本気で対戦相手を倒す」気概で臨んでいる。

協賛  
広告

菓子業一筋、松本清張にも愛されて今日に至っています。日露戦争勝利を愛でた勝ち栗からの命名された由緒ある「栗饅頭」を御茶受けに、ご進物にご利用下さい。



本店 〒802-0006 北九州市小倉北区魚町1-3-11  
TEL 093-521-0753  
本社 〒802-8691 福岡県北九州市小倉北区赤坂海岸3番2号  
TEL 093-541-0961  
フリーダイヤル 0120-47-0961  
Fax 093-541-3756

栗饅頭の湖月堂  
菓子業一筋、松本清張にも愛されて今日に至っています。日露戦争勝利を愛でた勝ち栗からの命名された由緒ある「栗饅頭」を御茶受けに、ご進物にご利用下さい。  
HPアドレス <http://www.kogetsudo.com>

● 涙こらえて

副団長の岩崎史歩さん（3年）はクラシックバレエ歴10年。中学生の時、演武を見て「凛々しい姿に衝撃を受けた」。1年時の野球部の試合。相手にリードされる展開の中、「勝つ」気持ちで一心に拳を突き、声を出し続けた、追い上げムードが高まると涙が出そうになったが、「人前で感情を表わしてはいけない」と「押忍」の心を思い起し必死でこらえたという。今、「応援には力がある」と感じる。

● 相手が千人でもひるまない

進学校だけに、授業優先で全校応援の機会は少ない。昨年夏の高校野球県予選で、対戦校は全校応援でスタンドを埋めた、一方、戸畑高校は授業のため、生徒は応援団員だけ。人数で圧倒され、試合でも先制されながら、団員は一步もひるまなかった。全員で決めた今年の目標は「懸」。「一生懸命の懸。懸命に応援することで、人と伝統の懸け橋になりたい」と、武久結香団長はきっぱりと語った。

今も、花の応援団は継続中であり、昨年度は第63代応援団が1年間の目標「昂然」（自負があって意気があがるさま）に続き、現在は、第64代応援団が目標「邁進」のもと、応援部の歴史をしっかりと繋いでいる！

又、この花の応援団については、私が関東支部幹事長時に招聘（引率教師1名+応援部員5名）、迫真・圧巻の演武40分を行って戴いた。出席者の中には感激の余り、涙を流す方も見られた。又、前日には、稲門会応援指導部OB（小倉高校卒業）の方のご配慮で、神宮球場での「華の早慶戦」を早稲田大の特別席で観戦応援させて戴いた。又、その時の凛々しい第61代応援団長は、海上保安大学校（呉市）に進学し、将来の海上保安庁、女性幹部職員を目指して頑張っている。

第7章 「大西ゆめ基金」について

平成24年度末に、同窓生、大西章資氏（12回生・昭和35年卒）から『強い勉強意欲を持ちながらも厳しい経済状況にある本校現役生徒や大学へ進学した生徒さんを支援したい』、との思いから基金提供の申し入れがあった。「大西ゆめ基金」と名付けられ、総額2億円の資金をベースに運用されている。正に、素晴らしい先輩からの有り難い「贈り物」である。大西氏は「これを契機に多くの先輩からの支援の輪が広がるといいですね。」との言葉を残され、平成28年5月に73才で、ご逝去された。



戸畑高校中庭

おわりに

さて、学校創立時から現在までのほんの一部を、校史のひもとくと、関係者の方からの聞き取り、小生の勝手な思いも含めて書かせて戴いたが、現在の戸畑高校はどの様な状況なのだろうか？ 又、これからの本校はどの様になるのだろうか？ と思い、その様な事をお聞きしたく、学校側へ面談の申し入れを行った。

● 池田美佐子校長先生（福岡高校30回生）よりは次の様なお話しをお聞かせ戴いた。

創立80周年を超える歴史と伝統を大切に守りながら、校訓「自主」「調和」の下、「文武両道」を校是としてスケールの大



戸畑高校校訓碑

きな「たくましく心豊かな創造者の育成」という教育目標実現のために、生徒や保護者、同窓生の皆様の期待に応える学校づくりを目指し、全職員で一丸となって取り組んでいる。

本校は、進学校でありながら部活動加入率が85%もあり、生徒会活動や自主参加のボランティア活動等を合わせると、殆どの生徒が勉強以外の何等かの活動に熱心に取り組む、人としての幅を広げている。どの部も県大会に出場し、昨年も、陸上部、水泳部、弓道部(個人)が九州大会へ駒を進めた。水泳部、弓道部は、惜しくも全国大会に一步及ばなかったが、陸上部は、インターハイ出場を決めた。生徒達は、勉強道具が山ほど詰まった鞆を重そうに両脇に抱えて通学し、部活動と勉強の両立によく努力している。3年間、部活動や生徒会活動等とおして培った強靱な心身を自己の限界突破に結びつけ、進路実現に繋げてほしいと願っている。

● 江藤高志野球部顧問先生(本校61回生)よりは次の様なお話しをお聞かせ戴いた。

昨年の野球部は、1年生14名、2年生16名、もう直ぐ卒業の3年生17名、マネージャー6名、計53名の部員で活動、チームでは「一丸」をスローガンに掲げ、春・夏の甲子園出場を目指して日々練習に励んでいる。野球部には指導者の先生方をはじめ保護者の方々やOB会の方々、食育指導して戴いた栄養士の方、チームトレーナーなど、今まで支えてくれた方が多くおられる。その方々への感謝の気持ちと恩返しをするという気持ちを持ち、グラウンドでは全力プレーで戦い抜く気持ちを持たせている。中々と結果が残せていない状況ではあるが、現状に満足することなく、更なる高みを目指して努力している。

● 水田一枝応援部顧問先生(本校41回生)よりは次の様なお話しをお聞かせ戴いた。

昨年の第63代応援団は、1年生2名、2年生5名、もう直ぐ卒業の3年生7名で「戸高三大行事」(戸高祭、体育大会、予餞会)や部活動の応援など、広く活躍しており、学校全体の統率(取り纏め役)として頑張っている。

これからも、何事にも強い気力を持って取り組んでいこうという思いを込めて、全力で頑張る戸高生に全力の応援が届くよう、日々精進している。

以上



戸畑高校全景



戸畑高校入館靴置場

# クルーズ船撮影記 (第 2 回・4 回連載)

編集委員 有田秀明



## 2. 撮影個所の選択とその特徴

私が撮影する主な場所とその特徴を紹介しよう。

### 2-1. 大棧橋での撮影

横浜港で最も代表的な埠頭である。横浜でのクルーズ船の大半がこの埠頭を利用する。埠頭を大きく分けると向かって右側をA、B岸壁、左側をC、D岸壁と突き出し形状である。

横浜大棧橋への出入港はC岸壁（赤レンガ側）で右舷接岸（後ろ向き）での場合が多い。

入港時の写真を撮影する時は、大棧橋のC岸壁先端部が良い。右舷接岸の時は船の方向転換シーンの撮影が可能である。山下公園側のB岸壁（山下公園側）へ入港する場合はB岸壁先端部が良い。接岸中の船の撮影では、C埠頭では午後の撮影が順光なので美しく撮影できる。右舷接岸時の入港は船首から入港してくるので船が接近するのを撮影し、その後バックすれば着岸シーンの撮影が可能である。但し午前中入港時は逆光なので露出設定に考慮が必要である。私の好みではあるが、大棧橋での撮影ではチャンスは少ないがC岸壁に左舷接岸時の停泊及び出港時が狙い目である。



大棧橋 C 埠頭左舷接岸時の Diamond Princess

### 2-2. シンボルタワーでの撮影

昼間入港するクルーズ船の撮影場所で良いのは横浜シンボルタワーである。本牧の先端にあるため、免許証を返納してしまった今では交通機関が少々不便であるが、東京湾を北上し横浜港へ入港してくる姿は格別である。船の背景に邪魔なものが少なく、晴天時には青空、青い海、遠くに千葉県山等が見えクルーズ船が波を立て接近する姿を撮影できるからである。ベイブリッジの高さ制限（満潮時55m）ため大棧橋に入港出来ない大型船は大黒埠頭に入港するが、このシンボルタワーはどちらの埠頭に入港するクルーズ船も撮影可能である。又東京港に出入港するクルーズ船も撮影可能である。出港時にも撮影可能であるが、入港時での撮影をお勧めしたい。背景に倉庫群が多く映りクルーズ船が目立たないと横浜港を出てしまうと後ろ姿を撮影することが多くなる。なお立入時間の制約があり夜間の撮影は出来ない。



シンボルタワーより撮影した Quantum of the Seas

### 2-3. スカイウォーク及び大黒釣り公園での撮影

大黒埠頭は旅客以外の立ち入りは禁止である。大型クルーズ船の出入港が多くなり代わりにスカイウォークが今春に再開されることになった。大型船が入港する土日祭のみ公開されている。大黒埠頭寄りのベイブリッジの橋脚より横浜港を見晴らすことが出来るので今までのアングルとは異なった写真が撮影出来る。しかし横浜港が真南方向となり、大棧橋への出入港の船の撮影は逆光のため撮影条件の設定に難しさがあるが、大黒埠頭に右舷接岸の大型クルーズ船は斜光又は順光となり良い写真が撮影出来る。なお公開されている日も閉門時間がクルーズ船の航行に合わせているので注意のこと。スカイウォークの近くに大黒釣り公園があり、そこからは真近にクルーズ船を撮影出来る場所である。背景に富士山を入れて撮影可能でユニークな写真撮影ができる。但し逆光での撮影条件になるため、撮影の設定に注意が必要だ。なお大黒釣り公園は19:00には閉門するので、夜間の撮影は出来ない。



大黒釣り公園より撮影の MSC Splendida

又交通機関も少ないため撮影は出入港時間とバスの時間とのにらみ合いでもある。

#### 2-4.ランドマークタワーでの撮影

横浜桜木町のランドマークタワーの最上階の展望室は有料であるが利用できる。そこは横浜湾が一望できる個所である。この場所からは数隻のクルージング船が同時着岸している時等は良い写真が撮影出来る。撮影は光の条件から午後からが良い。ただ注意しなければならないのは、展望室のガラスの反射である。撮影する時は必ずレンズとガラスの間隙を極力少なくなるよう心がけること。広角の面白いクルーズ船の写真が撮影出来る場所だ。

#### 2-5.観光船やポートサービスが運航するイベント船の利用

横浜港の観光船に乗り、撮影する方法もクルーズ船に接近でき迫力ある写真が可能だ。横浜港の大黒埠頭近くの象の鼻埠頭、赤レンガ倉庫近くのみなと・みらい地区の岸壁や山下公園の水川丸のそばから所要1時間程度の観光船が出ているので洋上からのアングルで面白い撮影が可能だ。但し月火運休であるがQueen Elizabeth等の入港時は例外で運行。



観光船より大黒埠頭に停泊中の MSC Splendida

#### 2-6.観音崎公園からの撮影

横須賀市の観音崎公園から東京湾の浦賀水道を出入りするクルーズ船が撮影出来るこの場所は、横浜港以外の東京港に出入港するクルーズ船も撮影出来る点にある。この場所は、クルーズ船以外の、横須賀の米海軍の艦船や海上自衛隊の護衛艦、それに東京湾には造船所が各地にあり試運転の船舶等も撮影するチャンスがあり予期しない船舶にも遭遇することもある。背景に邪魔なものが少なく、すっきりとした写真が期待出来る点にある。午後からの撮影が順光で好ましい。この場所の高台には旧観音崎灯台があり、そこからは面白いアングルでの撮影が可能である。

#### 2-7.東京港（晴海埠頭）及び東京国際クルーズターミナル

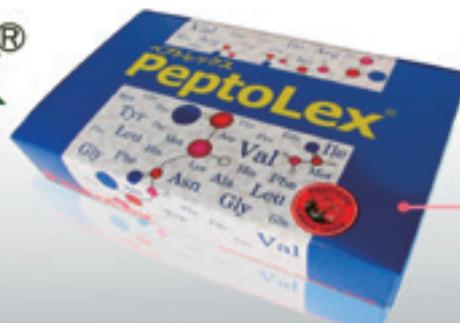
東京港（晴海埠頭及び大井水産埠頭）に出入港するクルーズ船は撮影が難しく満足した写真は少なかったが、豊洲市場開設後「豊洲ぐるり公園」が同時に開設された。この場所は晴海埠頭の対岸に当たり、クルーズ船の撮影には絶好の場所である。東京オリンピックもあり出入港する船も増加し、今後撮影するチャンスも増えそうである。東京港も横浜と同様橋梁による大型船の出入港の問題があったが、これを解決するため、2020年のオリンピックの開催時に間に合うように東京国際クルーズターミナル（船の科学館前側）を建設中で今後さらに出入港のクルーズ船が見込まれる。建設中のターミナルの位置から想像しても良い写真が可能と推定する。

協賛広告

ペプトレックス®  
**PeptoLex®**

#### ■ Advantage ■

- ・アスリートに必要な成分が豊富
- ・体の中から美しくなりたい方に最適
- ・体の衰えが気になる方にピッタリ
- ・世界ドーピングテスト合格・自衛隊で採用



- ・天然ペプチドだからすぐに吸収
- ・中性脂肪を燃やし、スリムな体づくり
- ・水に良く溶け美味しい

今なら、会員価格  
1箱 ¥ 3,300  
2箱以上 送料無料



アイエフシー株式会社 〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町8-8-105 URL: <http://www.ifcc.co.jp> E-mail: [umecadia@ifcc.co.jp](mailto:umecadia@ifcc.co.jp)  
代表取締役 梅原英敏 お求めは「ライフサイエンス部」または Amazonで「ペプトレックス」と検索しお求め下さい

## 会員寄稿 「ギラヴァンツ北九州」 必勝祈願観戦 上釜真一



9月7日、早朝に松本を出発して午前中に東京に到着するや否や真夏並みの厳しい残暑が待ち構えていました。

途中、上野の国立科学博物館で定番の恐竜展を鑑賞して、巢鴨にあるとげぬき地蔵こと高岩寺でギラヴァンツ北九州の必勝祈願をした後、14時ごろに試合会場である西が丘サッカー場（味の素フィールド西が丘）に到着しました。

西が丘サッカー場に到着したが待機列はいつものCゲートそばではなく、熱中症対策のためサッカー場そばのトレーニングセンター2棟の間の陰になっているところでの待機となりました。

陰になっているところで暑さをしのぎながら待機列移動の時間までいました。その後、開門となりスタジアムの中に入ると久しぶりに西が丘に来た感覚をかみしめながら北九州のコアサポに比較的近いところで席を確保しました。

そしてコンビニ弁当を食べながら続々とやってくる北九州サポの様子を見ながら、ギラヴァンツ北九州に想いをよせながら時間を過ごしました。ピッチ練習の時間になると連勝で勢いに乗っているせいかピッチとスタンドが盛り上がった後、試合前のチャントが流れ、私も一応歌いました。

試合の方は、連勝で勢いに乗る北九州が積極的に攻めていってシュートに持っていく回数も多かったため早々と先制点を期待したが、ホームのFC東京U-23の必死のディフェンスに阻まれました。

しかし、中盤のところでボールを取られる場面があって、それが原因でFC東京U-23の猛攻を許す場面が何度かありましたが、DF陣とGK高橋の懸命な守りで相手に得点を許しませんでした。試合は一進一退のこう着した場面が続きますが、前半12分に藤原泰哉選手からのボールを左サイドで受け取り、中に切り込み狙いました國分新太郎選手の右足で先制の貴重なゴールを決めてスタンドは大盛り上がりでした。

その後も北九州は積極的にゴールを狙うが追加点を取る事ができず、ピンチに一喜一憂しながら0-1の北九州のリードで前半が終了しました。後半開始早々も北九州が積極的に攻撃を仕掛けてFC東京U-23を翻弄するが次第に北九州の攻撃のペースが鈍くなり、FC東京U-23ペースで試合は流れ、北九州のパスミスも目立つようになりました。スタンドで観戦している我々も試合にハラハラドキドキさせながらも試合を見守っていました。

北九州の苦しい場面も選手全員が一丸となってFC東京U-23の猛攻撃をしのぎ、チャンスをものにしようと何度も攻撃を仕掛けてシュートを狙うも相手GKの壁に阻まれて得点にはなりませんでした。

こうした状況を変えたのは後半の43分、新加入で初出場の椿直起選手からのスルーパスを北川柊斗選手が冷静に左足で冷静にゴールに流し込み試合を決定づける追加点で試合を決定づけました。

試合はその後も一進一退の攻防は続いていましたが試合終了まじかになると北九州のサポ席から勝利のチャントが流れるようになり、程なくして試合終了の笛が鳴り、0-2でギラヴァンツ北九州が勝利しました。

アウェイ西が丘で3連勝でピッチ上の選手もスタンドの北九州サポーターも勝利で大盛り上がりでした。そして選手が一度引き揚げた後、追加点を決めた北川選手が再び来てサポーターに勝利の報告をしたのちにスタジアムを後にしました。

試合を見て感じたことは、上位3チーム（群馬、藤枝、熊本）の結果次第では首位奪還になるので選手とサポーターの気合いの入れ方が違っていただけと選手たちが前向きな気持ちで試合に臨んだ上、試合開始から積極的に攻撃を仕掛けてシュートを狙いにいった反面、中盤から対戦相手のFC東京U-23に選手にボールを奪われて猛攻を許す場面があって、相手がゴールを狙う場面があっていつ同点に追いつかれるかもしれないピンチもありました。

が、勝利の執念が高かった北九州が相手の得点を許すことなく試合運びをしたのは本当に評価すべき場面です。



## 会員寄稿 戦艦三笠と私

吉川 契太



私は、東郷元帥ゆかりの戦艦三笠には特別の思いがあります。

幼稚園から小学校低学年まで5年間ほど横須賀に住んだことから、三笠を保存した横須賀三笠公園（当時はみかさ園）にはしばしば訪れていました。

写真は三笠の横で遊具に乗る私です。横須賀在住中、私は東京の両親と別居し、祖母と暮らしていて、この写真は休日に私を訪ねた父が撮ったものです。昭和27年5月5日、こどもの日です。

当時の東の間の両親との再会は嬉しくもあり、切なくもあり、この写真からはそんな哀愁が伝わってくるようです。

両親が帰京した夜、祖母の家の寝床で、ラジオの音に交じって天井を這う鼠の足音が聞こえたりすると、たまらなく悲しかったのを憶えています。

その頃のアルバムを見ると、両親の愛を思い知り、もっと親孝行をしておけばよかった…と後悔しています。

三笠が心の中に生き続けているのは、そのような思いがあるからです。



みかさ園標識



戦艦三笠



戦艦三笠と私

.....  
(前ページの続き)

北九州が勝利したものの上位3チームが順当に勝ったため首位奪還はおろかJ2昇格圏内に入れなかったけど、次節以降もしっかりと攻撃を仕掛けながら積極的にシュートを放って得点を挙げることで相手にゴールを許さない。相手が上位3チームであろうと下位チームであろうと残り試合は必ず勝ち続けていけば、シーズン終了時にはJ2復帰が決まるものと確信しています。

観衆自体は1806人と天皇杯のヴェルディ戦よりも多く、J3の平均よりはやや少なめではありましたが西が丘に来た北九州サポーターは東京・西が丘という場所と北九州が好調であることからいつも以上に多く来ました。

西が丘サッカー場は収容人員が少ないので北九州サポが多く見えたが、J3だとメディアの扱いが非常に小さいので多くの北九州出身者や潜在的北九州サポがなかなか足を運ばないのも事実なので、今年は必ずJ2に復帰して来季は今以上にサポーターや北九州出身者に足を運んでほしいと感じました。また、SNSやメーリングリストの効率的な活用も検討課題のひとつです。

今年は西が丘での一試合だけになりましたが、会報が発行する頃にはJ2に復帰して北九州の試合観戦をできるだけ増やしたいと思っています。

## まちの魅力再発掘プロジェクト 始動!!

今年より新たに「まちの魅力再発掘プロジェクト」が始動しました。

### ▲プロジェクトの概要

本プロジェクトは、唐戸地区を中心とする海峡エリアをターゲットに、地域に根付いている「食・文化・芸術・景観」などの資源を活かした魅力あるスポットの構築により、周遊・滞在型観光地を目指します。市民や事業者等の皆さんと一緒に、まちの魅力の再発掘やエリアビジョン・施策の策定を2年間にわたって段階的に進めます。

### ▲キックオフイベント開催

プロジェクトの開始にあたり、下関らしさを参加者とともに考えるトークイベントを開催しました。

デザインの視点で地域の魅力を伝える D&DEPARTMENT 代表のナガオカケンメイ氏の講演、その後、参加者の皆さんは、「SIGHTS」「RESTAURANTS」「SHOPS」「CAFES」「HOTELS」「PEOPLES」という6つのテーマでグループに分かれ、海峡エリアで各自が感じる魅力的な場所等の意見を出し合いました。

約 90 名の市民の皆さんが参加してくださいました。オブザーバーも含めると、150名以上。笑顔でいっぱいキックオフイベントになりました。

### ▲第1回ワークショップ

7月6日(土)、下関海峡エリアの魅力を集めた、「d design travel WORKSHOP 下関海峡エリア号」作成のためのワークショップが開催されました。キックオフイベントを経て、参加を希望した市民の皆さんが、6つのテーマに分かれ、1テーマにつき4つのスポットを選定し、取材及び原稿執筆に取り組みます。1テーマにつき4名でチームを作り、総勢24名が d design travel編集部とともに作成します。この24名の皆さんが取材によって集めた情報等がエリアビジョン作成の基礎資料となります。

本当に下関らしさ、下関の魅力を伝えるものなのか、本質的な部分まで議論し、考えていきます。ワークショップは、あと2回ほど行い、来年3月頃に発行する予定です。



### ▲しものせき海響グルメフェス2019 開催! ～S級グルメの祭典～

下関市は、鮮度抜群の魚・肉・野菜・果物に恵まれた「食」の宝庫であり、その食材を生かした素晴らしい料理・飲食店が多数あります。

【S級グルメ】には、「下関の新鮮な食材を素敵なシェフたちがこの日のためのスペシャルな料理」を提供するという意味が込められています。

老舗・有名店・人気店が一堂に会し、地域産業資源や地元食材をふんだんに使った初めての「食」のイベント、「しものせき海響グルメフェス2019」をお楽しみください。



※ 9月12日 PRイベントの様子

令和元年 10月13日(日)	10:30 ~ 17:00
10月14日(月・祝)	10:30 ~ 16:00
オーヴィジョン海峡ゆめ広場にて	

# 関門海峡ミュージアムリニューアルオープン ～関門海峡をまるごと楽しむ体験型博物館へ～

<令和元年9月21日リニューアルオープン!>



関門海峡ミュージアムは、海峡にまつわる歴史や文化、自然を伝える施設として、平成15年4月に開館しました。

平成30年4月から大規模な展示更新のための工事を行っており、何度来ても楽しめる、より魅力ある施設に生まれ変わります。

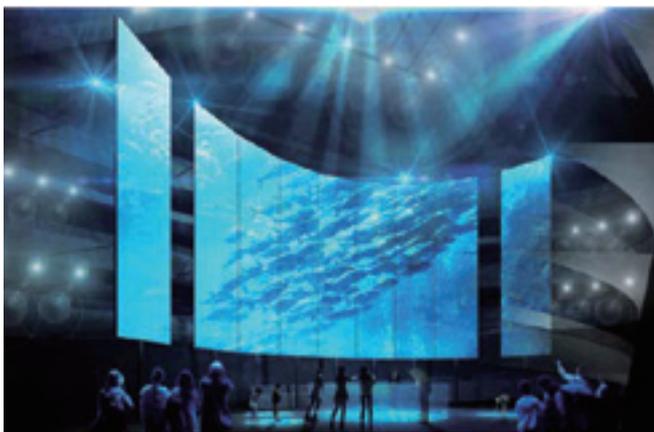
<豪華客船をイメージしたカフェ>



4階の「プロムナードデッキ」は、大正・昭和の豪華客船をイメージした空間で、関門海峡のダイナミックな景色が一望できるラウンジカフェになっています。眺望を楽しむカフェで来館者の皆様に、優雅なくつろぎのひと時を提供します。

大小様々な船が行き交う様子をゆっくり眺めながら過ごしてはいかがでしょうか？

<巨大スクリーンで迫力映像を>



今回の展示更新の目玉は、2階から4階の吹き抜け空間である「海峡アトリウム」に国内最大級の巨大スクリーンを設置し、新たに制作した4本の映像を投影するものです。

そのうち、「壇ノ浦の戦い」など関門海峡を舞台にした歴史上の様々なできごとを表現した「古今海峡絵巻」は、著名なアニメ制作会社「神風動画」が映像制作を手がけており、見ごたえのある完成度の高い映像になっています。

また、壁面や床面に設置したモニターで楽しむ海に関する映像ゲーム、2階エリアでのコンテナクレーンゲーム・操船シミュレーションなど、様々な体験を通して関門海峡を学ぶことができます。

<地元産の新鮮な食材を活かしたレストラン>



最上階の5階には、開放的な空間で雄大な関門海峡を眺めながら、地元産の新鮮な食材を満喫できる「マリナーテラス KAITO」がオープンします。

さらに魅力的な施設に生まれ変わった関門海峡ミュージアムに、是非お越しください！

【関門海峡ミュージアム】

住所：北九州市門司区西海岸1-3-3

電話：093-331-6700

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/11100064.html>

お問い合わせ

北九州市産業経済局門司港レトロ課  
093-322-1188

## 編集後記

今号は久方ぶりに「ギラヴァンツ北九州」のニュースが入りました。

J3に落ちたギラヴァンツは本誌の会員応援記にもありますとお善戦していて、9月15日には福島ユナイテッドFCを2-1で破り、3位に浮上しました。しかも1位のザスパクツ群馬の勝ち点は44、2位のロアッソ熊本も勝ち点44、そしてギラヴァンツ北九州の勝ち点は43です。これはもうJ2昇格の可能性大です。

ラグビーも面白くなりましたが、サッカーも面白くなりました。

136号も編集委員の有田さん、三浦さん、吉武さん、藤城代表、それに今回は田中さんにもお世話になりました。

おかげでようやく完成しました。ありがとうございました。

梅原英毅・編集委員長



落ち葉 (表紙ともに写真提供・有田秀明氏)

## 目次

P1 巻頭言	P14 下関市 まちの魅力再発掘プロジェクト 始動!!
P2 北九州ツアーの魅力・見どころについて	P15 北九州市 関門海峡ミュージアムリニューアルオープン
P3 第42回歴史講演会のご案内 かんもん北九州ファンクラブの新年会のご案内	P16 編集後記/目次
P4 かんもん北九州ファンクラブ 暑気払い報告	協賛広告 (ア～オ順)
P7 「戸畑高校物語」4	アイエフシー株式会社 P11
P10 クルーズ船撮影記 (第2回)	北九州予備校 P 9
P12 会員寄稿 - 「ギラヴァンツ北九州」 必勝祈願観戦 -	株式会社ギラヴァンツ北九州 P16
P13 会員寄稿 - 戦艦三笠と私 -	湖月堂 P 7

協賛  
広告



**Giravanz**  
KITAKYUSHU

**CHANGE**  
For Kitakyushu  
~この北九州のために~

ギラヴァンツ北九州 代表取締役社長 玉井行人

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-1-26 あべりあ浅野ビル

本年度の諸情報の詳細については、  
ギラヴァンツ北九州HP をご参照下さい。  
<http://www.giravanz.jp/>